

# 両津病院 看護師のクリニカルラダー

## <JNAクリニカルラダー>

### 看護の核となる実践能力

看護師が論理的な思考と正確な看護技術を基盤に、  
ケアの受け手のニーズに応じた看護を臨地で実践する能力

| レベルの定義   | ニーズをとらえる力                      | ケアする力                       | 協働する力                                   | 意思決定を支える力                             |
|--|--------------------------------|-----------------------------|---|---------------------------------------|
|  | レ ベ ル 毎 の 目 標                  |                             |   |                                       |
| <b>レベルⅠ</b><br>基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する                      | 助言を得てケアの受け手や状況(場)のニーズをとらえる     | 助言を得ながら、安全な看護を実践する          | 関係者と情報共有ができる                            | ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る                    |
| <b>レベルⅡ</b><br>標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する                           | ケアの受け手や状況(場)のニーズを自らとらえる        | ケアの受け手や状況(場)に応じた看護を実践する     | 看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換ができる               | ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる          |
| <b>レベルⅢ</b><br>ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する                              | ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえたニーズをとらえる   | ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえた看護を実践する | ケアの受け手やその関係者、多職種と連携ができる                 | ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる    |
| <b>レベルⅣ</b><br>幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する                             | ケアの受け手や状況(場)を統合しニーズをとらえる       | 様々な技術を選択・応用し看護を実践する         | ケアの受け手を取り巻く多職種に力を調整し連携できる               | ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に伴うゆらぎを共有でき、選択を尊重できる |
| <b>レベルⅤ</b><br>より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する | ケアの受け手や状況(場)の関連や意味を踏まえニーズをとらえる | 最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する      | ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように、多職種の力を引き出し連携に活かす | 複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる |